

黙示録の基礎知識スタディーガイド

■終末について4つの神学があります■

1. キリスト教法規^{ほうき}の、ディスペンセーション前千年王国説
2. 歴史的ディスペンセーション・前千年王国説
3. 後千年王国説
4. 無千年王国説

それぞれが、イエス・キリストは神であり、神の御子で、実際にこの地上に到来し、罪人を救うために十字架に架かれ、そして復活なさったことを信じています。この信仰によって、どの神学を信じていても救われたクリスチャンなのです。

オメガバイブルスタディーの黙示録の学びは、キリスト教法規のディスペンセーション前千年王国説、または歴史的ディスペンセーション前千年王国説です。

★ 第2ペテロ 1章21節

預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。

神様はいつも、カナン、バビロン、ベツレヘム、そしてエルサレムなど、すべてこの地上に実在する所を語られました。

黙示録だけが象徴的で霊的であると考える必要はありません。

黙示録のみならず聖書を学ぶ時、イスラエル、バビロンと書かれていることを、そのまま霊的な場所とは考えず、実在する民族や場所であることを、まず初めに受け止めてください。そして、時代の背景を学んでから、解釈してください。

例外もあります。

★ 黙示録 11章8節

彼らの死体は、霊的な理解ではソドムやエジプトと呼ばれる大きな都の大通りにさらされる。彼らの主もその都で十字架につけられたのである。

この「ソドムやエジプト」が、主が十字架に架かれたエルサレムであると説明されています。

★ 黙示録 12 章 3 節

見よ。大きな赤い竜である。七つの頭と十本の角とを持ち、その頭には七つの冠をかぶっていた。

★ 黙示録 12 章 9 節

この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落とされた。

竜がサタンであると説明されています。

黙示録に書かれている終末の預言は、**550 カ所**以上が旧約聖書からきています。

そして、旧約聖書だけの学びでは、以下の3つのことがわかりません。

1. どんなに旧約聖書の終末預言を研究しても、終末の順序が、どのような順序で表れるのかがわかりません。
2. 千年王国のことは、旧約聖書に書かれていませんから、キリストの王国の期間がわかりません。
3. キリストの王国が終わってからの、永遠のご計画については、旧約聖書には書かれていませんので、理解することができません。
主が、ヨハネに黙示録をお与えになったのは、この3つのことを理解させるために与えてくださった預言書だ、と考えられます。